

省エネ機能

概要・基本設定	2
エコトリガー（パワーセーブトリガー）	2
スケジュールの設定	2
パワーセーブトリガー設定時の動作	5
エコ LED（ポート LED 消灯モード）	6
コマンドリファレンス編	8
機能別コマンド索引	8
CREATE TRIGGER	9
DESTROY TRIGGER	12
DISABLE TRIGGER	13
ENABLE TRIGGER	14
PURGE TRIGGER	15
SET LED MODE	16
SET LED PORT	17
SET TRIGGER	19
SHOW LED	22
SHOW TRIGGER	24

概要・基本設定

本製品では、通常運用時の消費電力を抑える省エネ機能をサポートしています。

省エネ機能には、次の3つの機能があります。

- エコトリガー（パワーセーブトリガー）
- エコLED（ポートLED消灯モード）
- ポート省電力モード

省電力モードについては「スイッチング」の章をご覧ください。

エコトリガー（パワーセーブトリガー）

ユーザーがあらかじめ設定したスケジュールに従って、LEDの消灯、ポートの機能停止（シャットダウン）、本体の電源オフ、PoEポートの給電停止（GS908M V2-4PSのみ）を実行できる機能です。

ここでは、コマンドラインインターフェースによる設定方法を中心に説明します。なお、Web GUIでは「システム設定」-「トリガー」で設定できます。（詳細は「Web GUI」/「システム設定」をご覧ください。）スケジュール設定によって実行できる省電力制御（パワーセーブモード）には、以下の4つがあります。これらの省電力制御と実施する日時を組み合わせるとトリガーエントリーを作成します。トリガーエントリーの作成によって、指定時刻になると自動的に省電力制御が実施されます。

- ポートLEDの消灯（LEDOFFモード）
指定したポートのポートLEDを消灯させます。
トラフィックは流れますので、LEDによる監視が不要な時間帯に設定すると効果的です。
- ポートのシャットダウン（PORTOFFモード）
指定したポートの電源をダウンさせます。
トラフィックの流れない時間帯や使用していないポートに対して設定すると効果的です。
- 本体の電源オフ（SLEEPモード）
本製品の電源をダウンさせ、SLEEPモードに移行します。
もっとも省エネ効果が高く、トラフィックの流れない時間帯に設定すると効果的です。
- PoEポートの給電停止（POEOFFモード）
指定したPoEポートの給電を停止させます。
PoE受電機器を使用しない時間帯に設定すると効果的です。

※ POEOFFモードに対応しているのは、GS908M V2-4PSのみです。（PoE機能については、「PoE」の章をご覧ください。）

スケジュールの設定

スケジュールは以下のパラメーターで設定します。

パラメーター	内容
開始日/ 終了日	STARTDATE と ENDDATE パラメーターに西暦年、月、日を指定。ENDDATE を省略すると、STARTDATE で指定した日のみトリガーが有効になる。

毎日	DAYS パラメーターに ALL を指定。
曜日	DAYS パラメーターに曜日 (MON, TUE, WED, THU, FRI, SAT, SUN) を指定。
平日	DAYS パラメーターに WEEKDAY (= MON, TUE, WED, THU, FRI) を指定。
週末	DAYS パラメーターに WEEKEND (= SAT, SUN) を指定。
開始時刻/終了時刻	STARTTIME と ENDTIME パラメーターに時間、分を指定。START-DATE/ENDDATE、DAYS と組み合わせて設定可能。

表 1:

エコトリガーを有効にするには ENABLE TRIGGER コマンド (14 ページ) を設定します。

```
ENABLE TRIGGER ↓
```

エコトリガーを作成するには CREATE TRIGGER コマンド (9 ページ) を設定します。平日 0 時 30 分から 6 時まで全ポートの LED を消灯させるトリガーを作成します。

```
CREATE TRIGGER=1 PSMODE=LEDOFF STARTTIME=00:30 ENDTIME=06:00 DAYS=WEEKDAY
PORT=ALL ↓
```

19 時から 23 時までポートの電源をダウンさせるエコトリガーを作成します。

```
CREATE TRIGGER=2 PSMODE=PORTOFF STARTTIME=19:00 ENDTIME=23:00 PORT=1-5 ↓
```

エコトリガーの設定を変更するには SET TRIGGER コマンド (19 ページ) を設定します。

```
SET TRIGGER=2 PSMODE=SLEEP STARTTIME=18:00 ENDTIME=23:59 ↓
```

エコトリガーを無効にするには DISABLE TRIGGER コマンド (13 ページ) を設定します。

```
DISABLE TRIGGER ↓
```

エコトリガーを削除するには DESTROY TRIGGER コマンド (12 ページ) を実行します。

```
DESTROY TRIGGER=1 ↓
```

パワーセーブモードを 2 日以上継続させる場合、STARTTIME と ENDTIME の設定は期間中の 1 日ごとに適用されます (開始日の開始時間、終了日の終了時間を設定するものではありません)。

たとえば、「土曜日 0 時から日曜日 23 時 59 分まで」という設定をするには、

```
STARTTIME=00:00 ENDTIME=23:59 DAYS=WEEKEND ↓
```

を指定しますが、STARTTIME と ENDTIME の指定は土曜日と日曜日それぞれに対して適用されます。つまり、以下の設定をしたのと同じことになります。

土曜日の 00:00 ~ 23:59

日曜日の 00:00 ~ 23:59

このような設定をした場合、LEDOFF/PORTOFF/POEOFF モードの場合は、土曜日の 23:59 にいったんパワーセーブモードが解除され、日曜日の 00:00 に再びパワーセーブモードになります。SLEEP モードの場合

合は、23:59 から 00:00 の間もパワーセーブモードが継続します。

- ✧ SLEEP モードで指定できる期間は最大 28 日間です。開始日から終了日までの日数が 28 日を超えないように設定してください。28 日を超える設定をした場合、終了時刻になってもスタンバイ状態が解除されません。電源ケーブル抜き差しによる電源再投入、またはリセットボタンの押下を行わないかぎり本製品は起動しませんので、ご注意ください。
- ✧ SLEEP モードを設定する際に、ENDTIME の指定をせずに STARTTIME のみを指定すると、電源ケーブル抜き差しによる電源再投入、またはリセットボタンの押下を行わないかぎり本製品は起動しませんので、ご注意ください。
- ✧ PORTOFF モードを設定する際に、不用意に PORT=ALL が指定されると、期間中はいずれのポートからも Telnet や SNMP によるリモート接続ができなくなりますので、ご注意ください。
- ✧ 設定スクリプトファイル編集時に、SLEEP モードの開始日時になると、保存前の設定内容が消去されますので、ご注意ください。
- ✧ 正確な時刻でエコトリガーを動作させるため、SNTP との併用を推奨します。

パワーセーブトリガー設定時の動作

パワーセーブトリガーを設定した際の動作を説明します。

トリガー有効期間中に再起動した場合

パワーセーブモード	動作
ポート LED の消灯 (LEDOFF モード)	消灯のまま。ただし、ポート LED モードが消灯モードのとき。
ポートのシャットダウン (PORTOFF モード)	シャットダウンしたまま。
本体の電源オフ (SLEEP モード)	スタンバイ状態を解除する。ただし、再起動後ログインプロンプトが表示されているときに、本体前面の SPD/DPX LED 表示切替ボタンとリセットボタンを同時に押すと、トリガー有効期間中であれば、再びスタンバイ状態に移行させることができる。
PoE ポートの給電停止 (POEOFF モード)	給電停止したまま。(GS908M V2-4PS のみ)

表 2:

トリガーの開始時刻を過ぎてから本製品を起動した場合の動作

パワーセーブモード	動作
ポート LED の消灯 (LEDOFF モード)	消灯する。ただし、ポート LED モードが消灯モードのとき。
ポートのシャットダウン (PORTOFF モード)	シャットダウンする。

本体の電源オフ (SLEEP モード)	スタンバイ状態に移行しない。ただし、再起動後ログインプロンプトが表示されているときに、本体前面の SPD/DPX LED 表示切替ボタンとリセットボタンを同時に押すと、トリガー有効期間中であれば、スタンバイ状態に移行させることができる。
PoE ポートの給電停止 (POEOFF モード)	給電停止する。(GS908M V2-4PS のみ)

表 3:

トリガー有効期間中にパワーセーブモードを解除する方法

パワーセーブモード	動作
ポート LED の消灯 (LEDOFF モード)	エントリーを無効に設定するか、エントリーを削除する。本体前面の SPD/DPX LED 表示切替ボタンを押し、ポート LED モードを消灯モード以外のモード (SPEED または DUPLEX) に変更する。
ポートのシャットダウン (PORTOFF モード)	エントリーを無効に設定するか、エントリーを削除する。
本体の電源オフ (SLEEP モード)	電源ケーブルの抜き差しによって電源を再投入する。本体前面のリセットボタンを押す。
PoE ポートの給電停止 (POEOFF モード)	ポートの PoE 給電機能を有効にする。(GS908M V2-4PS のみ)

表 4:

- 、 SLEEP モードを解除する場合は、トリガーの開始時刻から 1 分以上経過した後、上記方法で起動するようにしてください。トリガーの開始時刻と同時に上記操作を行うと、起動直後に SLEEP モードが実施され、スタンバイ状態となりますので、ご注意ください。

異なるパワーセーブモードのエントリー同士で指定期間が重なる場合の動作

SLEEP モードとそれ以外のモードのエントリーで指定期間が重なる場合は SLEEP モードが優先されます (他のパワーセーブモードが動作していても、SLEEP モードに切り替わります)。

エコ LED (ポート LED 消灯モード)

ポート LED (LINK/ACT LED、SPD/DPX LED、GS908M V2-4PS の PoE LED) を点灯させないようにする機能です。ポートごとに LED 点灯/消灯を設定したり、ポートの受信レートが設定値を下回った場合のみ LED を消灯させたりといった設定も可能です。

ポート LED の消灯方法には以下の種類があります。どの方法でも、まずはじめに SET LED MODE コマンド (16 ページ) でポート LED のモードを消灯モードにする必要があります。

ここでは、コマンドラインインターフェースによる設定方法を中心に説明します。なお、Web GUI では「システム設定」-「ポート LED」で設定できます。(詳細は「Web GUI」/「システム設定」をご覧ください。)

指定したポートのみで LINK/ACT LED を有効にする	PORT=X ACTION=ON の設定で、ポート X のポート LED 消灯モードを無効にし、LINK/ACT LED を点灯/点滅させることができます（ポートごとに LED の点灯（点滅）/消灯が設定可能）。
受信レートが設定値を下回った場合に消灯させる	PORT=X ACTION=OFF RATE=100 の設定で、ポート X の受信レートが 100Kbps を下回ったときのみ LED を消灯させることができます。
パワーセーブトリガーのスケジューリングに従って消灯させる	PORT=X ACTION=ON の設定をしておくことによって、パワーセーブトリガーによる LEDOFF モードの設定が有効になり、指定期間のみポート LED を消灯させることができます。

表 5:

※ SET LED PORT コマンド（17 ページ）で ACTION=ON の指定で点灯（点滅）するのは、ポート LED のうち LINK/ACT LED のみです。SPD/DPX LED、GS908M V2-4PS の PoE LED は点灯しません。

ポート LED を消灯させるには SET LED MODE コマンド（16 ページ）を使います。

```
SET LED MODE=OFF ↓
```

ポート 1 ~ 8 のみを LED 点灯、それ以外のポートを LED 消灯にする場合は、SET LED PORT コマンド（17 ページ）で次のように設定します。

```
SET LED MODE=OFF ↓
```

```
SET LED PORT=1-8 action=ON ↓
```

ポート 1 ~ 8 で受信レートが 100Kbps を下回ったときに LED 消灯とする場合は、SET LED PORT コマンド（17 ページ）で次のように設定します。

```
SET LED MODE=OFF ↓
```

```
SET LED PORT=1-8 RATE=100 ↓
```

ポート LED の設定情報を確認するには、SHOW LED コマンド（22 ページ）を使います。

```
SHOW LED ↓
```

コマンドリファレンス編

機能別コマンド索引

概要・基本設定

CREATE TRIGGER	9
DESTROY TRIGGER	12
DISABLE TRIGGER	13
ENABLE TRIGGER	14
PURGE TRIGGER	15
SET LED MODE	16
SET LED PORT	17
SET TRIGGER	19
SHOW LED	22
SHOW TRIGGER	24

CREATE TRIGGER

カテゴリー：省エネ機能

```
CREATE TRIGGER=trigger-id PSMODE={SLEEP|LEDOFF|PORTOFF|POEOFF}
  STARTTIME=time [ENDTIME=time] [STARTDATE=date] [ENDDATE=date]
  [DAYS=day-list] [PORT={port-list|ALL}] [NAME=string]
  [POETARGET={ALLIEDTELEESIS-AP|OTHER}] [STATE={ENABLED|DISABLED}]
  [TEST={YES|NO|ON|OFF}]
```

trigger-id: トリガー番号 (1~10)

time: 時刻。hh:mm の形式。hh は時 (0~23)、mm は分 (0~59)

date: 日付。yyyy-mm-dd の形式。yyyy は西暦年、mm は月 (1~12)、dd は日 (1~31)

day-list: 曜日リスト (MON、TUE、WED、THU、FRI、SAT、SUN、WEEKDAY、WEEKEND、ALL の組み合わせ)。複数指定時はカンマで区切る)

port-list: スイッチポート番号 (1~)。ハイフン [-]、カンマ [,] を使った複数指定も可能)

string: トリガー名。1~40 文字。空白を含む場合はダブルクォートで囲む。

解説

エコトリガーエントリを作成する。10 個まで作成可能。

パラメーター

TRIGGER トリガー番号 (1~10)

PSMODE パワーセーブのモード。1 つのエントリに対して複数のモードを指定することはできない。

SLEEP (本体電源をオフにしてスタンバイ状態にする)、PORTOFF (ポートの機能を停止する)、LEDOFF (ポート LED を消灯する)、POEOFF (PoE ポートの給電を停止する) のいずれかを指定する。POEOFF は対応機種 (GS908M V2-4PS) のみ有効。

STARTTIME トリガーの開始時刻を指定する。

ENDTIME トリガーの終了時刻を指定する。ENDTIME に STARTTIME より前の時間を指定した場合、翌日扱いとなる。PSMODE が SLEEP で、ENDTIME を指定しない場合、トリガー起動後はパワーセーブモードから復帰しない。PSMODE が PORTOFF、LEDOFF もしくは POEOFF で、ENDTIME を指定しない場合、トリガー起動後は翌日になるまでパワーセーブモードから復帰しない。DAYS に ALL 以外が指定されている場合、または ENDDATE が指定されている場合は、ENDTIME の指定が必須。SLEEP モード中は電源再投入もしくはリセットボタンを押さないかぎり起動しないため、注意が必要。

STARTDATE トリガーが有効な期間の開始日を指定する。DAYS と同時には指定できない。ENDDATE より後の日付は指定できない。ENDDATE の指定を省略した場合は、STARTDATE で指定した日のみトリガーが有効になる。ただし、PSMODE が SLEEP で、ENDDATE と ENDTIME 両方の指定を省略すると、トリガー起動後はパワーセーブモードから復帰しない。また、PSMODE が PORTOFF、LEDOFF もしくは POEOFF で、ENDDATE と ENDTIME 両方の指定を省略すると、トリガーは起動したまま翌日になるまでパワーセーブモードから復帰しない。指定できる範囲は

1970/1/1(01-Jan-1970) から 2037/12/31(31-Dec-2037) まで。

ENDDATE トリガーが終了する日を指定する。DAYS と同時には指定できない。STARTDATE を指定していない場合は指定できない。STARTDATE より前の日付は指定できない。指定できる範囲は 1970/1/1(01-Jan-1970) から 2037/12/31(31-Dec-2037) まで

DAYS 一週間のうちトリガーを有効にする曜日を指定する。カンマ区切りで複数曜日を指定可能。WEEKDAY は MON,TUE,WED,THU,FRI と同義。また、WEEKEND は SAT,SUN と同義。ALL はすべての曜日。デフォルトは ALL。STARTDATE、ENDDATE と同時には指定できない。

PORT PSMODE が PORTOFF、LEDOFF、POEOFF のいずれかの場合対象となるポートを指定する。ポート番号、ALL (すべてのポート) のいずれかを指定する。PSMODE に PORTOFF、LEDOFF もしくは POEOFF を指定した場合、本パラメータを指定しなければならない。モードが PORTOFF の場合に不用意に ALL が指定されると、期間内はリモートから Telnet 接続しようとしたとき、どのポートからも接続できなくなるので注意。モードが POEOFF の場合、PoE ポート以外のポートを指定するとエラーとなり、ALL を指定すると全ての PoE ポートが指定される。

NAME トリガー名。SHOW TRIGGER コマンドで表示されるもので、メモとして使う。

POETARGET PoE 受電機器設定。アライドテレシス製の無線 LAN アクセスポイントを使用する場合は ALLIEDTELESIAP を指定し、無線 LAN アクセスポイントのリンクリレー機能を有効にする。この設定を行った場合、トリガー実行時に指定ポートをリンクダウンし、3 分後に PoE 給電を停止する。これにより無線 LAN アクセスポイントがシャットダウンする前に無線クライアントの接続を切断するため、無線クライアントに接続先の変更を促すことが可能となる。OTHER を指定した場合は、リンクダウンせず、即座に PoE 給電を停止する。デフォルトは OTHER。本パラメータは PSMODE が POEOFF の場合のみ有効。

STATE トリガーの有効・無効。省略時のデフォルト値は ENABLED。

TEST トリガーをテストモードにするかどうか。テストモードのトリガーは起動されても実行せず、ログにトリガーの起動を記録するだけ。デフォルトは NO。

入力・出力・画面例

```
Manager > create trigger=1 psmode=sleep starttime=18:00 endtime=24:00
Operation successful.
```

例

18 時から 24 時まで電源をダウンさせ、SLEEP モードに移行するエコトリガーを作成する

```
CREATE TRIGGER=1 PSMODE=SLEEP STARTTIME=18:00 ENDTIME=24:00
```

備考・注意事項

SLEEP モード中は電源再投入もしくはリセットボタンを押さないかぎり起動しないため、注意が必要。

SLEEP モードの場合は、STARTTIME で指定した時刻に SLEEP されるが、その直後にリセットボタン、電

源再投入を行った場合でも STARTTIME と同時刻内であれば起動後すぐに SLEEP が実行されるため注意が必要。STARTTIME での SLEEP を回復させる場合は、1分ほど待ってから起動する必要がある。

ENDTIME による SLEEP モードからの回復の確認はログでのみ確認が可能。トリガー機能が有効、かつ、SLEEP モードが設定されたコンフィグで起動すると“Power Save mode (SLEEP) ended”のログが記載される。

SLEEP モードで指定できる期間は最大 28 日間。28 日を超える設定をした場合、終了時刻になってもスタンバイ状態が解除されない。電源ケーブル抜き差しによる電源再投入、またはリセットボタンの押下を行わないかぎり本製品は起動しない。

SLEEP モードを設定する際に、ENDTIME の指定をせずに STARTTIME のみを指定すると、電源ケーブル抜き差しによる電源再投入、またはリセットボタンの押下を行わないかぎり本製品は起動しない。

PORTOFF モードを設定する際に、不用意に PORT=ALL が指定されると、期間中はいずれのポートからも Telnet や SNMP によるリモート接続ができなくなる。

設定スクリプトファイル編集中に、SLEEP モードの開始日時になると、保存前の設定内容が消去される。

POEOFF モードを設定する際に、POETARGET に ALLIEDTELEESIS-AP を指定した場合でも、トリガーの有効期間が 3 分より短い場合はトリガーの終了時間が優先され、PoE 給電は停止しない。(GS908M V2-4PS のみ)

関連コマンド

DESTROY TRIGGER (12 ページ)

DISABLE TRIGGER (13 ページ)

ENABLE TRIGGER (14 ページ)

PURGE TRIGGER (15 ページ)

SET TRIGGER (19 ページ)

SHOW TRIGGER (24 ページ)

DESTROY TRIGGER

カテゴリー：省エネ機能

DESTROY TRIGGER=trigger-id

trigger-id: トリガー番号 (1~10)

解説

エコトリガーエントリを削除する。

パラメーター

TRIGGER 指定したトリガー番号のトリガーを削除する。

入力・出力・画面例

```
Manager > destroy trigger=10  
  
Operation successful.
```

例

トリガー番号 10 のエコトリガーを削除する

DESTROY TRIGGER=10

関連コマンド

CREATE TRIGGER (9 ページ)
DISABLE TRIGGER (13 ページ)
ENABLE TRIGGER (14 ページ)
PURGE TRIGGER (15 ページ)
SET TRIGGER (19 ページ)
SHOW TRIGGER (24 ページ)

DISABLE TRIGGER

カテゴリー：省エネ機能

DISABLE TRIGGER [=trigger-id]

trigger-id: トリガー番号 (1~10)

解説

トリガー機能を無効にする。あるいは、指定したトリガーを一時的に無効にする。
デフォルトでは、トリガー機能は無効。作成直後のトリガーは、STATE=DISABLED を指定しないかぎり有効。

パラメーター

TRIGGER トリガー番号。省略時はトリガー機能全体が無効になる。

入力・出力・画面例

```
Manager > disable trigger=10  
  
Operation successful.
```

例

トリガー機能を無効にする

DISABLE TRIGGER

関連コマンド

CREATE TRIGGER (9 ページ)
DESTROY TRIGGER (12 ページ)
ENABLE TRIGGER (14 ページ)
PURGE TRIGGER (15 ページ)
SET TRIGGER (19 ページ)
SHOW TRIGGER (24 ページ)

ENABLE TRIGGER

カテゴリー：省エネ機能

ENABLE TRIGGER [=trigger-id]

trigger-id: トリガー番号 (1~10)

解説

トリガー機能を有効にする。あるいは、指定したトリガーを一時的に有効にする。
デフォルトでは、トリガー機能は無効。作成直後のトリガーは、STATE=DISABLED を指定しないかぎり有効。

パラメーター

TRIGGER トリガー番号。省略時はトリガー機能全体が有効になる。

入力・出力・画面例

```
Manager > enable trigger=10  
  
Operation successful.
```

例

トリガー機能を有効にする

ENABLE TRIGGER

関連コマンド

CREATE TRIGGER (9 ページ)
DESTROY TRIGGER (12 ページ)
DISABLE TRIGGER (13 ページ)
PURGE TRIGGER (15 ページ)
SET TRIGGER (19 ページ)
SHOW TRIGGER (24 ページ)

PURGE TRIGGER

カテゴリー：省エネ機能

PURGE TRIGGER

解説

トリガー機能の設定をすべて消去する。
作成したトリガーはすべて削除され、トリガー機能は無効になる。

入力・出力・画面例

```
Manager > purge trigger  
  
Operation successful.
```

関連コマンド

CREATE TRIGGER (9 ページ)
DESTROY TRIGGER (12 ページ)
DISABLE TRIGGER (13 ページ)
ENABLE TRIGGER (14 ページ)
SET TRIGGER (19 ページ)
SHOW TRIGGER (24 ページ)

SET LED MODE

カテゴリー：省エネ機能

SET LED MODE={**SPEED**|**DUPLEX**|**OFF**}

解説

ポート LED モードの設定を行う。

パラメーター

MODE ポート LED モードを設定する。デフォルトは SPEED。本コマンド設定後、本体前面の SPD/DPX LED 表示切替ボタンが押された場合、コンフィグはそのままとなるが、切替ボタンの設定が優先される。SPEED (SPD/DPX LED で通信速度を表示)、DUPLEX (SPD/DPX LED でデュプレックスモードを表示)、OFF (消灯モード) から選択する

入力・出力・画面例

```
Manager > set led mode=off  
  
Operation successful.
```

関連コマンド

SET LED PORT (17 ページ)

SHOW LED (22 ページ)

SET LED PORT

カテゴリー：省エネ機能

SET LED PORT={*port-list*|**ALL**} [ACTION={ON|OFF}] [RATE={1..1024000|NONE}]

port-list: スイッチポート番号 (1~。ハイフン、カンマを使った複数指定も可能)

解説

ポート LED モードが消灯モードのときの動作を設定する。

パラメーター

PORT 対象となるスイッチポート番号または ALL。ALL を指定した場合はすべてのスイッチポートが対象となる。

ACTION 該当ポートの LED 点灯/消灯設定。ON を指定するとポート LED が点灯 (ポート LED 消灯モード無効) になり、OFF を指定するとポート LED が消灯 (ポート LED 消灯モード有効) になる。デフォルトは OFF。本パラメーターはポート LED モードが OFF の場合のみ有効。ON の指定で点灯 (点滅) するのは、ポート LED のうち LINK/ACT LED のみ。SPD/DPX LED、GS908M V2-4PS の PoE LED は点灯しない

RATE 該当ポートの受信レートしきい値を Kbps (Kilobits per second) で指定する。該当ポートの受信レートがしきい値を下回ったときはポート LED が消灯し、上回ったときはポート LED が点灯する。NONE を指定した場合は、しきい値設定はなしとなる (ポート LED 消灯)。デフォルトは NONE。本パラメーターはポート LED モードが OFF の場合のみ有効。ACTION パラメーターが ON の場合、本パラメーターの設定はできない。また、ACTION パラメーターに ON が設定されると、本パラメーターの設定は NONE に戻る。

入力・出力・画面例

```
Manager > set led port=1 action=OFF rate=1
Operation successful.
```

例

ポート 1 の受信レートが 1Kbps 未満のとき、ポート LED を消灯させる

```
SET LED PORT=1 ACTION=OFF RATE=1
```

関連コマンド

SET LED MODE (16 ページ)

SHOW LED (22 ページ)

SET TRIGGER

カテゴリー：省エネ機能

```
SET TRIGGER=trigger-id PSMODE={SLEEP|LEDOFF|PORTOFF|POEOFF}
STARTTIME=time [ENDTIME=time] [STARTDATE=date] [ENDDATE=date]
[DAYS=day-list] [PORT={port-list|ALL}] [NAME=string]
[POETARGET={ALLIEDTELEESIS-AP|OTHER}] [STATE={ENABLED|DISABLED}]
[TEST={YES|NO|ON|OFF}]
```

trigger-id: トリガー番号 (1~10)

time: 時刻。hh:mm の形式。hh は時 (0~23) mm は分 (0~59)

date: 日付。yyyy-mm-dd の形式。yyyy は西暦年、mm は月 (1~12) dd は日 (1~31)

day-list: 曜日リスト (MON、TUE、WED、THU、FRI、SAT、SUN、WEEKDAY、WEEKEND、ALL の組み合わせ。複数指定時はカンマで区切る)

port-list: スイッチポート番号 (1~。ハイフン、カンマを使った複数指定も可能)

string: トリガー名。1~40 文字。空白を含む場合はダブルクォートで囲む。

解説

エコトリガーの設定パラメーターを変更する。

パラメーター

TRIGGER トリガー番号 (1~10)

PSMODE パワーセーブのモード。1つのエントリーに対して複数のモードを指定することはできない。

SLEEP (本体電源をオフにしてスタンバイ状態にする)、PORTOFF (ポートの機能を停止する)、LEDOFF (ポート LED を消灯する)、POEOFF (PoE ポートの給電を停止する) のいずれかを指定する。POEOFF は対応機種 (GS908M V2-4PS) のみ有効。

STARTTIME トリガーの開始時刻を指定する。

ENDTIME トリガーの終了時刻を指定する。ENDTIME に STARTTIME より前の時間を指定した場合、翌日扱いとなる。PSMODE が PORTOFF、LEDOFF もしくは POEOFF で、ENDTIME を指定しない場合、トリガー起動後は翌日になるまでパワーセーブモードから復帰しない。DAYS に ALL 以外が指定されている場合、または ENDDATE が指定されている場合は、ENDTIME の指定が必須。SLEEP モード中は電源再投入もしくはリセットボタンを押さないかぎり起動しないため、注意が必要。

STARTDATE トリガーが有効な期間の開始日を指定する。DAYS と同時には指定できない。ENDDATE より後の日付は指定できない。ENDDATE の指定を省略した場合は、STARTDATE で指定した日のみトリガーが有効になる。ただし、PSMODE が SLEEP で、ENDDATE と ENDTIME 両方の指定を省略すると、トリガー起動後はパワーセーブモードから復帰しない。また、PSMODE が PORTOFF、LEDOFF もしくは POEOFF で、ENDDATE と ENDTIME 両方の指定を省略すると、トリガーは起動したまま翌日になるまでパワーセーブモードから復帰しない。指定できる範囲は 1970/1/1(01-Jan-1970) から 2037/12/31(31-Dec-2037) まで。

ENDDATE トリガーが終了する日を指定する。DAYS と同時には指定できない。STARTDATE を指定

していない場合は指定できない。STARTDATE より前の日付は指定できない。指定できる範囲は 1970/1/1(01-Jan-1970) から 2037/12/31(31-Dec-2037) まで

DAYS 一週間のうちトリガーを有効にする曜日を指定する。カンマ区切りで複数曜日を指定可能。WEEKDAY は MON,TUE,WED,THU,FRI と同義。また、WEEKEND は SAT,SUN と同義。ALL はすべての曜日。デフォルトは ALL。STARTDATE、ENDDATE と同時には指定できない。

PORT PSMODE が PORTOFF、LEDOFF、POEOFF のいずれかの場合対象となるポートを指定する。ポート番号、ALL (すべてのポート) のいずれかを指定する。PSMODE に PORTOFF、LEDOFF もしくは POEOFF を指定した場合、本パラメーターを指定しなければならない。モードが PORTOFF の場合に不用意に ALL が指定されると、期間内はリモートから Telnet 接続しようとしたとき、どのポートからも接続できなくなるので注意。モードが POEOFF の場合、PoE ポート以外のポートを指定するとエラーとなり、ALL を指定すると全ての PoE ポートが指定される。

NAME トリガー名。SHOW TRIGGER コマンドで表示されるもので、メモとして使う。

POETARGET PoE 受電機器設定。アライドテレシス製の無線 LAN アクセスポイントを使用する場合は ALLIEDTELESIAP を指定し、無線 LAN アクセスポイントのリンクリレー機能を有効にする。この設定を行った場合、トリガー実行時に指定ポートをリンクダウンし、3 分後に PoE 給電を停止する。これにより無線 LAN アクセスポイントがシャットダウンする前に無線クライアントの接続を切断するため、無線クライアントに接続先の変更を促すことが可能となる。OTHER を指定した場合は、リンクダウンせず、即座に PoE 給電を停止する。デフォルトは OTHER。本パラメータは PSMODE が POEOFF の場合のみ有効。

STATE トリガーの有効・無効。省略時のデフォルト値は ENABLED。

TEST トリガーをテストモードにするかどうか。テストモードのトリガーは起動されても実行せず、ログにトリガーの起動を記録するだけ。デフォルトは NO。

入力・出力・画面例

```
Manager > set trigger=1 psmode=sleep starttime=23:00 endtime=6:00

Operation successful.
```

例

23 時から 6 時まで電源をダウンさせ、SLEEP モードに移行するエコトリガーを設定する

```
SET TRIGGER=1 PSMODE=SLEEP STARTTIME=23:00 ENDTIME=6:00
```

備考・注意事項

SLEEP モード中は電源再投入もしくはリセットボタンを押さないかぎり起動しないため、注意が必要。SLEEP モードの場合は、STARTTIME で指定した時刻に SLEEP されるが、その直後にリセットボタン、電源再投入を行った場合でも STARTTIME と同時刻内であれば起動後すぐに SLEEP が実行されるため注意が必要。STARTTIME での SLEEP を回復させる場合は、1 分ほど待ってから起動する必要がある。

ENDTIME による SLEEP モードからの回復の確認はログでのみ確認が可能。トリガー機能が有効、かつ、SLEEP モードが設定されたコンフィグで起動すると“Power Save mode (SLEEP) ended”のログが記載される。

SLEEP モードで指定できる期間は最大 28 日間。28 日を超える設定をした場合、終了時刻になってもスタンバイ状態が解除されない。電源ケーブル抜き差しによる電源再投入、またはリセットボタンの押下を行わないかぎり本製品は起動しない。

SLEEP モードを設定する際に、ENDTIME の指定をせずに STARTTIME のみを指定すると、電源ケーブル抜き差しによる電源再投入、またはリセットボタンの押下を行わないかぎり本製品は起動しない。

PORTOFF モードを設定する際に、不用意に PORT=ALL が指定されると、期間中はいずれのポートからも Telnet や SNMP によるリモート接続ができなくなる。

設定スクリプトファイル編集中に、SLEEP モードの開始日時になると、保存前の設定内容が消去される。

POEOFF モードを設定する際に、POETARGET に ALLIEDTELESIS-AP を指定した場合でも、トリガーの有効期間が 3 分より短い場合はトリガーの終了時間が優先され、PoE 給電は停止しない。(GS908M V2-4PS のみ)

関連コマンド

CREATE TRIGGER (9 ページ)

DESTROY TRIGGER (12 ページ)

DISABLE TRIGGER (13 ページ)

ENABLE TRIGGER (14 ページ)

PURGE TRIGGER (15 ページ)

SHOW TRIGGER (24 ページ)

SHOW LED

カテゴリー：省エネ機能

SHOW LED

解説

ポート LED 情報を表示する。

入力・出力・画面例

```

Manager > show led

Switch LED Information
-----
Configured LED Mode ..... LED Off
Actual LED Mode ..... LED Off

Port  Action  Threshold  RxRate  Link  PowerSave  LEDState
-----
1     Off     -          -       Up    Yes        Off
2     On      1          -       Up    No         On
3     On      1024000   -       Up    Yes        Off
4     On      1024000   -       Down  Yes        Off
5     Off     -          -       Up    Yes        Off
6     Off     -          -       Up    Yes        Off
7     Off     -          -       Up    Yes        Off
8     Off     -          -       Down  Yes        Off
9     Off     -          -       Down  Yes        Off

```

Configured LED Mode	LED モードの設定値。SPEED LED、DUPLEX LED、LED Off のいずれか。
Actual LED Mode	実際の LED モード。SPEED LED、DUPLEX LED、LED Off のいずれか。
Port	ポート番号。
Action	ポート LED の消灯/点灯の設定値。On または Off。
Threshold	受信レートのしきい値。単位は Kbps (Kilobits per second)。
RxRate	該当ポートの現在の受信レート。単位は Kbps(Kilobits per second)。
Link	該当ポートのリンクの状態。Up または Down。
PowerSave	パワーセーブ機能による、LED 制御実行状態。Yes は、パワーセーブにより LED 消灯実行中、No は、LED 消灯制御未実行。

LEDState	ポート LED の消灯/点灯状態。On または Off。
----------	------------------------------

表 6:

例

ポート LED 情報を表示する

```
SHOW LED
```

関連コマンド

SET LED MODE (16 ページ)

SET LED PORT (17 ページ)

SHOW TRIGGER

カテゴリー：省エネ機能

SHOW TRIGGER [=trigger-id] [{FULL|STATUS|SUMMARY}]

trigger-id: トリガー番号 (1~10)

解説

トリガーおよびトリガーマジュールに関する情報を表示する。

パラメーター

TRIGGER トリガー番号 (1~10)。省略時はすべてのトリガーに関するサマリー情報が表示される。

FULL トリガーに関する詳細な情報が表示される。

STATUS トリガー機能の状態に関する情報が表示される。トリガー番号は指定できない。

SUMMARY すべてのトリガーに関するサマリー情報が表示される。

入力・出力・画面例

```

Manager > show trigger

TR# Type & Details          Name          En Te Rept #Scr Days/Date
-----
001 PS-SLEEP (18:00-6:00)  SLEEP TRIGGER Y  N  Yes   00  2011/5/16-2011/5/31
002 PS-LEDOFF(18:00-24:00) LED Off        Y  N  Yes   00  MTWTFSS
-----

Manager > show trigger=2 full

Trigger ..... 2
Name ..... SLEEP Trigger start at 18:00
Type and details ..... Time-SLEEP (18:00-23:59)
Days ..... Daily
Start Time ..... 18:00
End Time ..... 23:59
Port ..... 1,3,5-10
PoE Target ..... ALLIEDTELEISIS-AP
Enabled ..... Enabled
Test ..... No
Repeat ..... Yes
Created/Modified ..... 2011-05-11 16:16:02
Number of Activations ..... 0
Last Activation ..... ****-**-** **:*:*

```

```
Number of scripts ..... 0
```

```
Manager > show trigger status
```

```
Trigger Module Configuration
```

```
-----
```

```
General
```

```
Trigger Module ..... Enabled
```

```
Triggers configured ..... 2
```

```
Power Save Triggers
```

```
Configured ..... 0
```

```
Active ..... 0
```

```
Activated today ..... 0
```

TR#	トリガー番号
Type & Details	トリガーの種類とその他の情報
Name	トリガー名(メモ)
En	有効かどうか
Te	テストモードかどうか
Rept	複数回実行の可否。Yes(可)のみ。
#Scr	常に00
Days/Date	トリガーが有効な曜日または日時。有効な曜日が頭文字(MTWTFFSS)で表される。無効な曜日は「-」で示される。

表 7:

Trigger	トリガー番号
Name	トリガー名(メモ)
Type and details	トリガーの種類とその他の情報
Days	トリガーが有効な曜日。Weekdays(月~金)、Weekends(土日)、Daily(毎日)あるいは各曜日が表示される。DaysとDateはどちらか一方のみ表示される。
Date	トリガーが有効な日付。DaysとDateはどちらか一方のみ表示される。
Start Time	トリガーの開始時間。
End Time	トリガーの終了時間。
Port	トリガーの対象ポート。
PoE Target	受電機器設定。ALLIEDTELEESIS-APまたはOTHER。(GS908M V2-4PSのみ表示)
Enabled	トリガーの有効・無効。
Test	テストモードかどうか。

Repeat	複数回実行の可否。Yes (可) のみ。
Created/Modified	作成日時あるいは最終修正日時
Number of Activations	トリガーが起動された回数 (前回の再起動後)
Last Activation	最終起動日時 (手動起動は含めない)
Number of scripts	0

表 8: FULL オプション指定時

General セクション	トリガー機能全般に関する情報
Trigger Module	トリガー機能の有効・無効
Triggers configured	トリガー数
Power Save Triggers セクション	パワーセーブトリガーに関する情報
Configured	トリガー数
Active	現在有効なトリガー数
Activated today	今日実行された回数。ただし、パワーセーブトリガーの SLEEP モードの実行回数はカウントアップされない。

表 9: STATUS オプション指定時

関連コマンド

[CREATE TRIGGER \(9 ページ\)](#)
[DESTROY TRIGGER \(12 ページ\)](#)
[DISABLE TRIGGER \(13 ページ\)](#)
[ENABLE TRIGGER \(14 ページ\)](#)
[PURGE TRIGGER \(15 ページ\)](#)
[SET TRIGGER \(19 ページ\)](#)